

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和2年10月19日（月曜日） 19時から21時
会 場	中野区役所 第8～10会議室
テ ー マ	中野区基本構想改定検討素案について
出席者 区 民	計 12人
区 側	区長、企画部長、基本構想担当課長、企画部参事（企画担当）
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

区長あいさつ	
<p>基本構想検討素案についての区民意見交換会は、2月に1回実施した後に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中断していた。この意見交換会は、新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえて基本構想検討素案を改定したので、改めて実施することとしたものである。</p> <p>基本構想は、中野が10年後に目指すまちの姿を描くものである。重視しているのは、少子高齢化対策である。日本全体の人口は減少しているが、中野区は、当面の間は人口は減らないと推計している。しかしながら、現在、0～14歳が区の全人口に占める割合は、23区中で最下位である。子育て家庭が暮らしやすい環境を整えていく必要がある。また、中野区の65歳以上の人口は増加傾向が続き、一方、総人口は2035年をピークに、その後減少すると考えている。これから、3人に1人が高齢者という社会が到来する中で、地域で支えあい、誰もが安心して暮らせるようにしていく必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、皆さんの生活に大きな影響を及ぼしていることから、日頃感じていることについても聴かせてほしい。</p>	
区民の意見・質問	区長の回答等
「人生100年時代を安心して過ごせる体制を構築します」に、ICTとあるが、どういう意味か。	ICTは情報通信技術のことである。基本構想改定後の周知にあたっては、注釈をつけるなど工夫していく。
中野区基本構想は、平成17年に制定し、その後改定してきたと認識しているが、今回は制定になるのではないか。また、平成17年は地方自治法に基づく制定だったと思うが、今回は何に基づくものなのか。	今回、初めて作るわけではないので、改定することとしている。現在の基本構想の制定等の根拠は、中野区自治基本条例である。
抽象的な言葉が並んでおり、他の自治体と差異がない内容だと感じるので、具体性のある内容としてほしい。	少子高齢化の進展など、他の自治体とも共通する社会状況や課題がある一方で、多様性や中野ならではの文化など、中野区の特徴についても描いている。
東京、日本、世界をどう捉えて、10年後の中野区のまちの姿を描いているのか。	気候変動や新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響は、全世界で共通の課題であると考えている。また、全国的には、人口減少・超高齢社会に突入しており、都市部においても将来的に人口構造の変化が進み、中野区の地域経済や地域コミュニティの活力にも影響を与えるものと考えている。こうした広域的な状況も踏まえ、まちの姿を描いている。
「狭あい道路や木造住宅密集地域が多い」とあるが、気候変動の影響や水害についても記載してほしい。	今後、基本構想への記載について検討していきたい。
「地域愛と人のつながりを広げます」について、町会・自治会のつながりが大事だと思っている。現役世代には、町会・自治会の活動に関わりたくてもどう関わればいいのか分からない人も多いと思うので、そういった人々をどう取り込んでいくのか、区としての考えを教えてください。	町会連合会においても、持続していくための協議を進めるとともに、広報活動を積極的に行っている。区も、そういった町会・自治会の取組に対する側面支援をしていきたいと考えている。

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>中野区は公園面積が23区中、下位であり、桃園川緑道についても風情がない。にぎわうことはいいことだが、センスのあるまちづくりを進めてほしい。</p>	<p>中野区は小さな公園が多いため、小さな公園も使いやすくするというところを地域の力も借りながら進め、魅力のある公園にしていきたい。桃園川緑道については、レンガなども古くなっている。今後、改善に向けて検討していきたい。</p>
<p>総務省における人材育成基本方針では、社会の変化に応じた行政サービスを提供するための人材育成が必要だと言っている。また、まず計画を立てて実践して検証するという流れが必要だとも言っている。そうした人材をどのように育成をしていくのか。先日、区役所に来たとき、トイレのセンサーが壊れていることを職員に伝えたが、守衛室に行ってくれと言われた。前時代的な考え方を改めてもらう必要があると感じた。</p>	<p>職員の対応が行き届いておらず申し訳なかった。総務省の示しているPDCAサイクルについては、区全体で取り組むとともに、改善運動にも取り組んでいる。</p>
<p>今ある桃園川緑道をリニューアルできないか。今ある公園を全部とって、新しい遊歩道をつくる。水流がある公園、遊歩道をつくってほしい。今、第二下水道を作ろうという計画があるので、それに合わせて、上部を作り替えていくというのはどうか。</p>	<p>桃園川緑道は、大久保通りに沿った歩行者空間として利用されている公園であるため、今後、改善に向けて検討していきたい。</p>
<p>現行の基本構想改定時から中野区はどのように変わったのか。</p>	<p>大きな変化は、警察大学校跡地の再開発だと思う。企業が入居できるオフィスビルもでき、区としても公園を整備した。また、区立小中学校について、子どもの数にあわせて再編した。一方で、子どもの数は減ると予想していたが、増えている。そういったことから生じる課題を、基本構想を踏まえ策定する基本計画等で解消していきたい。</p>
<p>中野区の避難所が、感染症を考慮すると密になるのは、今から予見できる。高齢者などを救うため、福祉避難所を一次避難所にしてほしい。</p>	<p>支援が必要な人の避難する先が、一次避難所より二次避難所の方が近いのは、矛盾していると感じているので、検討していきたい。</p>
<p>子育て家庭の避難所の開設を検討してほしい。文京区は大学と連携して、母子避難所を開設することとしており、訓練も実施している。また、南房総市では、先の台風の際に一時避難所として母子避難所を開設したそうだ。中野区の防災備品には、お尻ふきがなかったりするので、今後充実していったほしい。</p>	<p>母子に向けた備品がそろっていないという点については、検討していきたい。中野区は、要支援者の災害時個別避難支援計画の作成割合が高い方だと自負している。</p>
<p>環境を意識した持続可能な社会の実現を目指してほしい。子どもたちが高齢になったとき、今のままだと5℃近く平均気温が上がるという話もある。生ごみコンポストやゼロカーボンを区として打ち出すことで住みたいと考える人が増えるのではないか。また、持続可能な社会を共につくってほしいという区の姿勢が見えるとよい。再生可能エネルギーで区役所の新庁舎を運営していくなど、まちで自家発電できる環境を備えてほしい。</p>	<p>生ごみコンポストについては、中野区は従前より取り組んでおり、市民団体も活動をしている。また、区でもできる限り、再生エネルギーに転換している。蓄電池設置助成の取組に力を入れようと思っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で財政状況が悪化したことから、助成事業を休止しているところである。</p> <p>中野区役所新庁舎については、持続可能な社会の実現に向け、太陽光や地中熱など再生可能エネルギーを活用するほか、CASBEE Sランクの取得を目指すこととしている。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
5Gが当たり前になり、社会の変化が激しい時代になっている。良いものは積極的に取り入れ、中野区が他の自治体の先頭に立ち、スピード感をもって区政運営を行っていく姿勢を、基本構想で示してほしい。	中野区では、最先端の取組をしていきたいと考えている。社会の変化に対応し、スピード重視で取り組んでいくことについて、基本構想への記載を検討していきたい。
日本の教育は世界と比べたら遅れていると感じているので、世界のスタンダードに合わせた学校教育を目指してほしい。	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、区でも、オンライン学習を進めている。ICT環境の充実に加え、学校教員のICT機器を活用した指導力の向上についても着実に進めていく。区立小中学校が選ばれるよう、取組を進めていきたい。
結婚したら中野区から出て行ってしまふことについて、どのように考えているか。	区としては、子育て世帯の定住、定着を促進していきたいと考えている。子育て環境全体を充実させ、子育てしやすいまちを目指していく。
中野区議会の議事録について、公開が3週間後で遅く、テキストの羅列になっていて見にくかった。改善してほしい。	区議会事務局に伝える。
まちは、100年単位で続いていくものだと思うので、その視点でまちの姿を描いてほしい。	人口構造や社会状況の変化など長期的な視点に立ったうえで、10年後に目指すまちの姿を描いている。
住民参加について、先進的に取り組む姿勢を描いてほしい。	パートナーシップによりまちづくりを進めていく考えであり、「区民に信頼される対話と参加の区政を進めます」に記載している。
区民活動センターの責任者は区の職員か。北区では、地域円卓会議という取組を行っている。そういった取組も参考にしながら、地域ごとに特徴があると思うので、それを生かしてもらいたい。	現在、区民活動センターは、区民の方で構成されている運営委員会が、運営している。区役所の職員は区民活動センターごとに2人いる。職員は、地域の方の側面支援を行っている。区民の方が一緒にまちづくりを考えていく会議は、良い取組だと思う。各地域が特色を出せるように、地域の方に区民活動センターの運営に入ってもらっているので、今後も、それを生かしていってもらえるよう、支援していく。
路上喫煙やたばこのポイ捨てが多い。また、ネズミやハクビシンなど害獣が多いので、住みにくく感じる。そういったことを改善してほしい。	中野駅周辺だけが路上喫煙禁止地区であり、ほかには禁止されていない。商店街からも路上禁止地区にしてほしいと要望がある。全区で禁止にすればポイ捨てが減るのかというマナーの問題であり、難しい面もあると思う。ネズミやハクビシンの問題については、保健所で相談にのっているのので、連絡してほしい。
中野区は、外国人住民が多く、ダイバーシティに富んでいると思うが、そのプラスの面をどのように生かしていくのか。	中野区は、大学等に入るときに住み、その後転出していく人が多く、土地固有の価値観を押しつけても仕方ないという風土があると思っている。外国人住民は近年急増しており、対応が追いついていない面もあるが、各施設にAI多言語通訳システムを導入するなど早急に対応している状況である。LGBTの人から、日本で一番住んでいるのが中野区だと聞いた。多様性を特徴として意識し、PRしていくことも必要だと考えている。

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>かつて、囲町という地名があった。江戸時代に、生類憐れみの令で犬屋敷ができたことが由来となっている。そういったまちのレガシーを、全国に発信し、そして残していってもらいたい。</p>	<p>囲町の話は、中野区の歴史として重要なところだと思う。町会名には、囲町という名前が残っている。区役所の南側にある犬の像については、新庁舎敷地に移転整備する方向で検討している。</p>
<p>江戸川区には区立の小動物公園があるが、中野区にもそういう公園があってもいいと思う。</p>	<p>意見として承った。</p>